

病気に強い種豚を作る技術を開発

～養豚農家の皆さんにエイルでエールを届けます～

岐阜県畜産研究所 養豚・養鶏研究部

研究成果

ウイルス性疾患（豚サーコウイルス2型）の重症化と関連する塩基配列（DNA領域）を特定し、**エイル(EIR)※**と命名特許を出願し、誰もが使える技術に。

※ **E**nhancer of **I**mmune function and **R**esistance to disease
(免疫機能と抗病性を増強する)の頭文字

本技術を用い

「ポーノブラウン」を病気に強い種豚へ



1. ^{しゅとん}種豚のDNA解析

種豚ポーノブラウン（父母）のDNA解析を行い、**エイル(EIR)**を持っている種豚を用いて交配を行う。



2. 子豚の選抜

生まれた子豚のDNA解析を行い、**エイル(EIR)**を持った子豚を選抜する。



3. 次世代の選抜

エイル(EIR)を持ち、発育が早く、体格や肢蹄が良い種豚として活躍できる個体を選抜する。



4. エイルを持った種豚の完成

肉質が良く、病気に強い

種豚「**(エイル(EIR))**ポーノブラウン」が完成！！

エイル(EIR)

